

@寝息5秒

ん、うう～ん？

ん、ふああっ、ああ……ん。【あくび】

あれ？ ああ、どうも先生。おはようございます。

えっと、ここ、リフレ部……リフレクソロジー部の部室ですけど、何かご用ですか？

今って確か、まだ授業中のはずですけど。

あ、見回り。見回りですか。なるほど。

それはそれは、ご苦労様です。

こっちは異常ありませんから、先生はどうぞお仕事にお戻りください。

ん……それじゃ、お疲れ様です。

おやすみなさい。

……んむ、えーっと、まだ何か？

ああ、授業はって……あー。アレです。休講です、休講。

急に決まったみたいで、教室で自習っていうのも気が乗らないので、休憩中って感じです。

ですから私の事はお構いなく。

……ん？ あれ？ 連絡、受けてないですか？

おかしいですね、担当の先生、忘れてるんでしょうか。

……。

ん……うう。

はあああ。まあ、流石に苦しすぎますか。

分かりました、認めます。

嘘ですよ、休講なんかじゃないですよ。

なんか教室行くの面倒になっちゃったんで、ここで暇つぶししてただけです。

まあ有り体に言ってしまうえば、サボリですね。

はあ、新任の先生っぽいから押し切れれると思ったんですが、甘かったですか。

ここ、外れの部屋だからあんまり人も来ないし、そうそうバレないと思ったんですが。

中々熱心に見回りされてますね、先生。

ん？ ああ、鍵ですか？

それなら……ん、ほら。

☆鍵出す音☆

私、一応これでもリフレ部の部員なので、ちゃんと配布されたの持ってます。

勝手に忍び込んでた訳じゃないので、そこはご安心を。

ま、部員とはいっても、活動にはほとんど顔出してないですけどね。

ん、にしても先生、なんか随分うちの部のこと詳しそうですね？

一体どういう……。

ん？ あー、そういえば……部長や先輩たちが新しく顧問の先生に就いてもらったとか言ってたような。

それ、先生のことでしたか。

は一……うん、なるほどなるほど。

あっ、いやすみません、ジロジロと。

こんなよく分かんない部の顧問を引き受けるなんて、どんなお人好しかなと思いまして。

私、人相とか見るの結構得意なので、つい。

うんまあ、悪い人では無さそうなので、安心しました。

あー、そうだ先生。一応自己紹介とか、しておいた方がいいですか？

ほら、一部員として。

はい。

ん、それじゃあ、リフレ部部員の渚【なぎさ】です。

えーっと、いつもお世話になってます？っていうのもおかしいですか。

まあ、とにかくよろしくお願いします。

ん、えっとそれで、先生？

知り合って早々不躰なお願いで申し訳ないんですけど、いいですか？

その、今日のサボりのこと、出来れば黙ってて貰いたいんです。

ほら、私いつもこんな感じなので、結構他の先生達から目付けられちゃってて。

今日のこともバレちゃうと、色々小うるさく言われちゃいそうで、今回は見逃して貰えないかな、と。

ダメ……ですかね？

ん……そこをなんとかお願いできないですか。

その、私が怒られるだけなら構わないんですけど、部全体にまで飛び火しちゃったら、流石にそれは申し訳ないですし。

顧問の先生として、特別にここだけの話ってことにして貰う訳には……。

ああ勿論、何のお咎めもなしにってつもりはないです。

いくら何でもそれじゃ都合良すぎますし。

罰掃除でも何でも、言って貰えればやりますよ。

そうですね……。

あ、そうだ。

じゃあ代わりと言ってはアレですが、私が先生にリフレ、してあげるっていうのはどうでしょう？

ほら先生、見た感じ結構お疲れみたいですし、奉仕活動……みたいな。

見回りなんてしてるってことは、どうせ先生もこの時間は授業、無いんですよ？

私も今更戻ってもしようがないですし、お互い暇してる同士、丁度いいかと。

ね、どうでしょうか、先生？

ん……でも先生、どうせいつも部活に付き合わされてマッサージとか耳かきとか、先輩達の練習台になってるんですよ？

だったら私が相手でも問題ないじゃないですか。

もしもの時も部員の特訓に付き合ってたってことで、言い訳もたちますし。

という訳でどうでしょう、先生？ それで手打ちってことで。

ね？ いいですよ？

はい、では、決まりで。

ん……いや、案外押し切れませんでしたね。やっぱり見た目通り、お人好し？【小声つぶやき】

ん？ ああいや、なんでもないです。お気になさらず。

ん、っと。それじゃあ……うーん。

あの先生？

時間も勿体ないんで、早速始めていきたいんですけど、いつも部活ではどんな感じでリフレ、やってってます？

ほら、私幽霊部員なので、あまり細かいところは詳しくなくて。

はあ、マッサージの後、耳かき、ですか。

背中とか肩とか……なるほど。

じゃあ私も、そんな感じでやっていけばいいですか？ はい。

じゃ、ん……よしっ、と。はい。では先生、隣、どうぞ？

ん……おお、このソファ微妙に小さいから、改めて隣に座られると結構圧迫感ありますね。  
いつもこんな感じの距離感なんですか？

はあ、そういうものですか。

まあいいです。

ん……それではまずは、こっちに背中を向けて貰って、あー、その前に上着ですか。

じゃあ、脱いでこっちに渡してください。

☆上着脱ぐ→渡す☆

ん……はい。お預かりします。

ん、しょ……っと。【上着置く】

ん……はい、じゃあこのまま、私に背を向けるように座って貰って……

ああはい、そんな感じで大丈夫です。

はい。

ん、それじゃ先生。

早速マッサージ、始めていきますね。

えーっと、まずは背中全体を手でさすって、温めていくんですよ？

はい、失礼します。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

どうでしょう先生。

こんな感じで大丈夫そうですか？

はい。じゃ、もう少しこのままで……。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、先生の背中広いから、これだけでも結構時間かかっちゃいますね。

もう少しだけ掛かりそうです。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、はい先生。終わりました。

どうです、身体？ あったまりましたか？

そうですか、それはどうも。

部活で何度かされる側になったことはありますけど、こうしてする側に回ったのは初めてなので、上手くできてたなら良かったです。

ん？ ああ、安心してください。

こう見えて私こういうの、結構得意ですし。

幽霊部員でも大体のやり方くらいは分かってますから。

一応罰代わりってことですし、そこはしっかりやらせて貰います。

ん……さて。

それじゃ次は本格的に背中とか肩とか、揉み解していきますね？

はい、いきますよー。

まずは背中の方から。ん……しょっ、と。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

どうでしょう、先生？ 力加減とか、その辺は。

はあ、力、強いから気持ちいい……ですか。

あの、先生？ 褒めてるつもりかもしれませんが、女子に対してその言い方はどうかと思いますよ。

私、そんなに力入れてないですけど。

ん？

ああ、普段はもっと弱めだからですか。

まあ確かにうちの部、見るからに非力そうな女の子の集まりですしね。

男の先生だと物足りなく感じるのも仕方ないかもしれません。

でもそれ、絶対先輩たちの前では言わない方がいいですよ？

きっと気にしますから。

……はあ、まあもういいです。

じゃあどうせなら、このまま強めに揉んでいってあげますよ。

ほら……んっ、こんな感じでっ、どうですか？うん？ ちょっと痛い？

ふふ、先生、女子の腕力、甘く見すぎです。

それにちょっと痛気持ちいい位が、丁度いいらしいですよ？ ふふふっ。

@@@@@@@@@@@@@@@@吐息30秒@@@@@@@@@@@@@@@@

ん、それにしても先生、結構凝ってますよね、身体。

全体が固まってしまっって、揉み解すの大変です。

んっ、ほら、この辺とか特に……。

ん……まあ見るからに先生なんてお仕事、大変そうですもんね。

授業に、部活に……よくやりますよ、ほんと。

ん、ほら……重点的に揉んでほしい所とかないんですか先生？

お疲れみたいですから、その位の希望ならききますよ？

ん……この辺を、こう、ぐりぐり押す感じで？

はい、では、そんな感じで。

@@@@@@@@@@@@@@@@吐息30秒@@@@@@@@@@@@@@@@

ん……よし。じゃ、そろそろ肩の方もやっていきますね。

はい、失礼します。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

こっちも中々ですね。

全体的に張ってる感じで、かなり大変です。

……いえ、別に謝って貰わなくてもいいですけど。

時間は掛かるかもしれませんが、ちょっとずつ揉み解せばいいだけですから。

だから先生は、もっと力抜いて、リラックスしててください。

身体、まだ少し力入ってる感じですから。

ほら、こうやって指で肩の肉をつまむ感じでやっていきますよ……。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

どうです、先生？ んっ……ちょっとはマシになってきました？

……はあ。すごく心地いい、ですか。

ん……というかあの先生？ 褒めて貰えるのはいいですけど、ちょいちょい声、漏れちゃってますよ？

一応まだ授業中なんですから、気を付けてください。

ん……ふふ。まあ、思わず声出ちゃうほど心地よくなってくれてるっていうのは、悪い気は  
しませんけど。

ん、ほら、この辺とかですか？ 特に良さそうなのは。

ふふっ、あんまりうるさくすると、人、来ちゃうかもしれませんから、ちゃんと我慢してく  
ださいね？

@@@@@@@@@@@@@@@@吐息30秒@@@@@@@@@@@@

よし、じゃああとは、首の後ろの方を揉み解せばっと……。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ふう。

はい、お疲れ様です先生。

一応これで一通りは揉み解せたと思いますけど、どうですか？

身体、楽になりました？

いえいえ、これもサボりのこと、黙っててもらうためですし。

そんな、お礼を言われる程のことでもないです。

ん……は一、それにしても結構重労働ですね、マッサージって。

指、ずっと指圧してて疲れちゃいましたよ。

☆ちょっと座りなおす☆

ん、しょ。

よし、じゃあ次は……肩叩き、しましょうか先生。

いつもしてもらってるんですよね、仕上げに。

はい、じゃ、体勢はこのままでいいので。

ん……よし。はい、いきますよー、先生。

失礼します。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、痛くないですか、先生。

先生、強めの方が好きみたいなので、ある程度力入れてやってますけど。

あ、丁度いいですか。

じゃあこの位の力加減で。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……それにしても先生、今更ですけどあんまり疲れ、溜めすぎないように気を付けた方が  
いいですよ。

今は大分マシですけど、さっきまでちょっと心配になる位張ってましたもん。

お仕事頑張るのもいいですけど、少しは自分の身も案じた方がいいです。

私みたいにたまにはサボる位の心持でー……って、流石にそれはダメですか。

ん……まあとにかく、あんまり頑張りすぎるのも考え物ですよってことです。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……よし、じゃあ少し小刻みに、速くしますね。

もし痛かったら言ってください。

@@@@@@@@吐息15秒@@@@

ん……これ、結構気持ちいいですよ。

私もやって貰ったことあるんで、分かります。

ふふ、よし、じゃあ最後にまたゆっくり目にいきますよ、先生？

はい。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、はい、終わりです。お疲れさまでした、先生。

ああはい、もう体勢戻してもらっても大丈夫ですよ。

ん.....。

とりあえずこれで大体はマッサージできたと思いますけど、どうでした？

まあ、私じゃ先輩達程上手くできないですし、いまいちだったかもしれないですけど。

ま、物足りなかったら後はまた放課後先輩たちに癒してもらってください。

.....えっ。

いや、何言ってるんですか、先生。

そんなに褒められても何もないですけど。

というか、わざわざそんなお世辞言って貰わなくても.....。

ん.....は一、なるほど。そういう所な訳ですか。

妙に先輩たちに気に入られてるのは。素直というか、あざといというか.....。

ん.....いえ、何でもありません。

はあもう、ほら次.....耳かきでしたっけ？ その内休み時間になりますし、早いとこ済ませますよ先生。

ん.....えーっと、あ、そうか。その前に道具取ってこないと。

んしょっ。

ん、えーと、確かこの辺に.....。

あっ、あったあった。んしょ.....。

ん.....はい、お待たせです先生。

ちょっと分かりづらい所にあって、手間取ってしまいました。

えーっとじゃあ、早速耳かきを.....って、あ、そういえば。

あの先生？ 一応確認しておきたいんですけど、その.....。

普段リフレ部で耳かきする時って、どんな体勢でやってます？

ほら、頭、どこに載せてるか、とか。

.....膝枕。

はああ、やっぱり先生相手でも普通にやってたんですか、それ。

他にいい方法もなくてって、いやだとしても普通に受け入れちゃう先生も先生だと思いますよ？

普通おかしいと思いませんか？ 男の先生相手なのに.....。

はあ、まあ先輩達、意外と強引なところあるんで、押し切られちゃうのもしょうがないかもしれませんけど。

かくいう私がリフレ部に入ってるのも、そんな感じですし。

ん.....にしたってどうなんですか、それ。

はああ、まあいいです。

実際他にいい感じのスペースが無いのも事実ですし。

.....んっ、しょ、ほら、先生？

それじゃ頭、私の膝に載せていいですよ？

ん、いいですよ、遠慮しなくても。

こうしないと耳かき、進められないじゃないですか。

ん.....はい、そのまま降ろして行って貰えばいいので。

はい、どうぞ。はい。

ん……どうですか、先生？

えっ……私の太もも、柔らかくて気持ちいいって……いやあの。

太ももの感触じゃなくて、体勢とかきつくないかって聞いているんですけど。

というか、普通に人によってはセクハラですからね、それ。

はあ、全くもう……。

じゃあこのまま進めて行っちゃって、問題ないんですね？

はい。

ん、それじゃあまずは、ウェットティッシュで全体の汚れを軽く拭いていきますね。

んしょっ。

ん、はい先生。

それじゃいきますよ？ はい。

@@@吐息10秒@@

どうです、先生？

気持ち悪かったり、しないです？

はい？ 冷たい？

そりゃ、ウェットティッシュなんだから当たり前ですよ。

子供じゃないんですから、そのくらいは我慢してください。

全体を軽く拭いただけですし、すぐ終わりますから。

@@@吐息10秒@@

はい、拭けましたよ先生。

冷たいの、我慢してくれてどうもです。

ん、じゃあここからは耳かき、使っていきますね？

ん、しょ……。えーと、これでいいのかな？

ん、先生？ 耳かき、何だかいっぱい種類があってよく分からなかったんですけど……。

えっと、とりあえずこの、よくある竹っぼい奴でいいですか？

お気に入りのがあるなら、そっちを使わせてもらいますけど？

あ、はい、わかりました。

じゃあこれを使って、先生の耳、お掃除していきますね。

はい、じゃあまずは、耳の入り口付近から、やっていきます。

はい、失礼します。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

どうです、先生？

耳かき、痛くないですか？

そうですか、良かった。

入口付近は元々あまり汚れてないでしょうし、さっき拭いた分で綺麗になってると思いますから、早く済ませちゃいますね。

はい。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、とは言ったものの……耳の溝の部分とか、その辺には案外汚れ、残ってますね。

すいません先生、ちょっと見づらい所にあたりして、もう少し時間、かかっちゃいそうです。

@@@@@@@@吐息30秒@@@@@@@@

ふう……よし。

あとはこの辺りを綺麗にすれば……。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……はい、取れました先生。

やっぱり先輩たちの見様見真似じゃ、なかなかスムーズにはいかないですね。

手間取ってしまって、ごめんなさい。

ん、じゃあ次は、耳の穴の中のお掃除、していきますね。

あっ、私の方でも注意しますけど、耳かき、中に入れていきますから頭、動かさないようにしてくださいね、先生？

はい。

じゃあ、いきますよー？

ん……。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、先生？ 入口の浅い部分からやっていってますけど、何か痛かったり、気持ち悪かったりはしないですか？

何分私もこういうのは不慣れなので、何かあったら言ってください。

ああはい。

それじゃあ、とりあえずはこのまま続けていく感じで。

はい。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、表面と違って穴の中だと流石に、結構汚れが目立ちますね。

中の壁に張り付いているようなのが、ちらほら見えますよ？

ん？ ああ、別に恥ずかしがる必要はないと思いますよ？

誰だってこんなものだと思いますし。

それにこれを綺麗にするのが、今の私の役目な訳ですし。

ん……という訳で先生はリラックスして、じっとしててくれればオッケーです。

ほら、もっと肩の力、抜いてください？

そうして貰わないと、こっちとしてもやり辛いんで。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、そうそう。

段々余計な力、抜けてきた感じですね、先生？

ん……耳の中って刺激されると何だか気持ちいいですし、そのせいですかね？

なににせよ、こっちの方が私もお掃除しやすくて、いい感じです。

その調子でお願いしますね、先生？

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……よし、結構取れたかな？

あとは細かい取り残しを……っと。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

よし、と。

ん……はい先生。

それじゃあ次は、もっと奥の方まで耳かき、入れていきますから。

はい、危ないですから、引き続き大人しくしててください？

はい、いきますね？

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

んー、奥の方はやっぱりもっと汚れ、溜まってますね。

暗がりに隠れてるようなのもありそうですし、これは結構大変そうです。



んしょ……とりあえず目に付くやつから一つずつ取っていくしかないか。

ちょっと時間、掛かるかもしれませんが、我慢してくださいね、先生？

@@@@@@@@@@@@@@@@吐息30秒@@@@@@@@@@@@

それにしても先生、耳かきの方もリフレ部で、普段よくされてるんですよね？

はあ、にしては随分耳垢、溜まってるように思いますけど。

何かこう……溜まりやすい体質とかなんですか？

あっ……ふふ、いや、別に責めてるんじゃないですよ？

ただ単純に、不思議に思っただけで。

ん……それに耳かきの練習台としてはその方が、都合がよかったりするんじゃないですか？

知らないですけど。

ふふっ。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……よし、これである程度目に付く部分は取れましたか。

あとは隅の方に隠れてるのを……。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

んー、この……これ、中々取れないな。

くっ、このっ……んっ……。

ん……あっ、すいません。

ちょっと取り辛いのがあって、ついムキに。

ひょっとして、痛かったですか？

そうですか、良かった。

ん、ちょっと待ってくださいね先生。

もう少しで……取れそうですから。

@@@吐息10秒@@

ん……ふう。取れた。

すいません先生。ご迷惑、掛けてしまっ。

私、自分では手先、器用な方だと思ってたんですけど、案外難しいですね、耳かきって。

取り辛い所にあるようなのはやっぱり、中々スムーズにはいかないですし。

普段からやってないとそう上手くいくものじゃないですね。

ん……よし、先生。

それじゃここからは気を引き締めて、もっと慎重にやっていきます。

あと少しですから、もうちょっとだけお願いしますね。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、あとは細かい取り残しだけです。

あと少しですよ、先生。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

はい、お疲れ様です。

これでこっちの耳は大体綺麗になったと思うので、えー、じゃあ最後に。

このふわふわした部分……梵天？っていうんでしたっけ。

それで全体をお掃除して、終わりにしますね。

ん、はい、いきますよ？

@@@@@@@@吐息15秒@@@@

耳、かゆかったりしないですか？

はい。

@@@吐息10秒@@

ん……はい、終わりです、先生。

お疲れ様でした。

耳、大分掃除したので、これでしばらくは大丈夫だと思いますけど、どうですか先生。  
物足りない所とか、ないですか？

えっ、何？ 耳、フー……ですか？

私が先生の耳に、息、吹きかけるんですか？ 汚れ、飛ばすために？

えっ、嫌ですよそんなの。

する訳ないじゃないですか、恥ずかしい。

大体、生徒に対してよくそんなお願いできますね。

……いつもはやってもらってるって、そういう問題じゃないと思いますけど。

……うう、はああ、もう。分かりましたよ。

一応、罰って手前もありますし、一回だけですからね？

ん……じゃあほら、息、かけますから頭、動かさないでじっとしててくださいね？

ん……いきます。

ふうううつ。

ん……はい、これでいいですよ？

全く、こんなことしなくても、もう十分綺麗だったと思いますけど。

ふう……はいじゃあ先生。次は反対側、やっていっちゃいますから。

えっとー……このまま寝返り、打ってもらいたいんですけど、できますか？

はい、このまま、反対の耳を私に向けるように……

ん、はい、そうです。

そんな感じで顔をこっちに向ける感じで、お願いします。

……はい。

ん、どうです？

頭の位置とか、問題ありません？

分かりました。

じゃあこっちの耳もまずは、ウェットティッシュで拭う所から始めていきますね。

ん……んしょっ、と。

はい、いきますよ。

また冷たいですけど、我慢してください？

@@@@@@吐息15秒@@@@

ん……よし、と。

こんなものですか。

はい、では続いてまた耳かき、使っていきますね先生。

ん……さっきと同じやつで別に、問題ないですよ？

はい、んしょ……。

それじゃ、また入り口付近の辺りからやっていきますからね？

はい、失礼します。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

こっちも表面はあまり汚れてないみたいですね。

少し溝の裏とかに残ってるのもありますけど、さっきもやりましたし段々慣れてきましたから、ちゃっちゃと済ませちゃいますね。

はい。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……というか身体、こっち向きだとアレですね。

耳かきしながらでも先生の表情、良く見えるといいますか。

くす、はい。

さっきから耳、お掃除されて緩みきってる先生の顔、良く見えてますよ？

ああいえ、別に恥ずかしがる必要はないですけど。

ただ、耳かきされるの、そんなにお好きなんだなーと思ひまして。

この分だと奥の方お掃除されるとどんな顔になっちゃうのか、見ものですね。

ふふふっ、冗談です。別に、からかったりしませんよ。

まあ実際先生、お仕事大変で疲れ切ってるみたいですし。

こんな時くらい細かいことは気にしないで、リラックスしちゃってもいいと思いますけどね。

ん……さ、ここが済んだら、耳の中のお掃除に移っていきますよ先生。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

はい、出来ました。

ちゃんと綺麗になりましたよ、先生。

ん……よし、それじゃあまた耳かき、中に入れていきますね。

危ないですから、急に動いたりしないでくださいね。

はい、それじゃ、失礼します。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……やっぱり中の方は表面より汚れてますね。

こっちも入口付近の浅い所からやっていってますけど、大きめのとか、結構目に付きますね。

ん……少しずつ、コツコツ取っていくしかないんですけど、中々大変そうです。

@@@@@@@@吐息30秒@@@@@@@@

ん……おっ。この辺とか、結構気持ちいい感じですか？

耳かき当たった時、何だか心地よさそうですけど。

くす、先生結構顔に出るタイプみたいですから、分かりやすいですよ。

私も耳かき、されるのは嫌いじゃないので、気持ちは分かりますけどね。

神経とか、色々集まってるせいか、刺激されると何とも言えない感じ、しますよね。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……よし、目立つところは大体終わったかな。

んー……あっ、この辺は少し残ってますね。

ん……。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

よし、と。

はい、先生。大体取り終えたので、段々奥の方もやっていきますね。

もし首とか、苦しかったら教えてください。

はい。

ん……。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

んー……奥の方は取り辛いので、慎重にやっていってますけど。  
なにぶん量が多いので、やっぱり骨が折れそうです。  
時間掛かっちゃいますけど、もう少しだけ付き合ってくださいね、先生。  
ここをお掃除しちゃえば、終わりですから。

@@@@@@@@@@@@@@@@吐息30秒@@@@@@@@@@@@

んー。  
髪の毛、少し耳に掛かって見え辛いんですね。  
ん……先生、ちょっとだけ、触りますね？

ん……んしょ、っと。  
うん、これでオッケーですね。  
はい、続き行きますよ？

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

あっ、奥の方、大きめのがありますね。  
結構微妙な位置だけど、このまま突っ込んで取れるかな？  
ん……ちょっと、動かないで下さいね先生。

手元、狂っちゃいますから。

@@@吐息10秒@@

んっ……よしっ、と。  
はい、取れましたよ先生。  
ほら、見えます？

中々のサイズですよ、これ？  
なんか妙に達成感ありますね、こういうの。ふふっ。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん……さて、あとは細かい残ってるやつを取っちゃえば、いいですかね。  
はい、先生。もう少しですよ。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

ん、あとはこの辺りだけです。  
最後まで慎重に……。

@@@@@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

はい、取れました。

じゃ、仕上にまた、ふわふわの部分で取り切れなかった分の掃除と……。  
あと……耳、フーってするやつですね……。  
分かってますよ。こっち側でもちゃんとやりますから。  
はい、じゃ、失礼します。

@@@@@@@@吐息15秒@@@@

ん……よし。

じゃ、いきますよ……？ 先生。  
ん……フー——ッ。

ん……んんんっ。【咳払い】  
やっぱりこれ、恥ずかしくないですか？ 先生。  
ん、まあいいですけど。  
とにかく、これでリフレ、一通り済みましたか。

ちょっと確認を……。  
んー……。うんうん。ちゃんと綺麗になってますね。  
はい、ではお疲れ様でした。  
色々至らない所はあったと思いますけど、一応これで全部お終いです。  
ん……。さて、と。  
それじゃ先生、頭、起こせますか？  
このままゆっくりでいいので、お願いしますね。  
ん？ あの一？  
早く起きて貰わないと、いい加減重いんですけど。

え、いや、リラックスしたら力抜けちゃって、もう少しこのままで、じゃないですよ。  
何言ってるんですか。  
というかもうすぐ授業、終わっちゃいますけど。  
……。あと五分だけって、子供じゃないんですから。  
ん、こう言っただけですけど先生って、結構図々しいですよ。  
……。はあ、まあ、いいでしょう。  
チャイム鳴るまで、ちょっとの間だけですし。特別ですよ？  
あと、約束通り、これで今日のこと、内緒ってことにしておいて下さいね。  
はいはい、私も以後気を付けるようにはしますから。  
ん……。ふう。  
って、あーあー、先生。  
欠伸、出てますけど。  
一応お仕事なんですから、あんまり寛ぎすぎて、寝ないで下さいよ？  
何度も言ってますけど、すぐに時間、来ちゃうんですから。  
まあ、仮に寝ちゃったとしても、無理矢理にでも起こしますけどね。ふふっ。  
ん……。所で先生。  
あの、今日のリフレなんですけど。  
その、良かったら感想とか、聞かせて貰ってもいいですか。【照れながら】  
いやまあ、その、曲がりなりにも一部員として、多少は気になるといいますか。  
そりゃ、先輩達程上手くはなかったと思いますが、自分的にはそれなりに頑張れたかな、と。  
だから良かったらその、先生の口からも聞かせて貰えれば、なんて。  
んっ……。そ、そうですか。  
ん……。先生ってその、結構ストレートに褒めて来ますよね。  
いや、ダメじゃないですけど……。何て言うか……。あんまりそういうの、慣れないです。  
ん……。  
ううんっ。【咳払い】  
あの、先生。  
一つ相談なんですけど。  
これからたまに……。たまにでいいんですけど、リフレ、練習に付き合っただけで貰ってもいいですか。  
いやその、今日、一通りリフレ、やってみて正直結構楽しかったというか……。こういうのも悪くないかな、と。  
ほら、うちの学校、絶対どこかしらの部には所属してないといけないじゃないですか。  
それで勧誘されるままにリフレ部、入ってみた方がいいんですけど。

私、あまり熱心に打ち込むタイプじゃないので、なかなか続かなくて。  
先輩たちはそれでもすごく良くしてくれるので、その……すごく感謝してるんですが、なんだか申し訳ないなって、ずっと思ってた……。  
それで今日のこともあるので、いい機会だからまた、近い内に部活、顔出してみようかなって。  
でも、幽霊部員のくせにいきなり出ちゃっても迷惑じゃないですか。  
だからその、事前練習的な？  
ん……先生相手なら、結構気楽に取り組めそうですし。  
それにその……ん、し、信頼も、できそうですし？  
という訳でその、出来ればお願いできたらなって思うんですけど……どうですか、先生？  
……ん、あの……先生？ あの一？  
ん……もしかしなくても、寝落ち……してます？  
……はああああ。【溜息】  
人が勇気出して真剣な相談してるのにこの人は……もう。  
まあ……そのくらいゆるい感じだから、改めて相談できたって所もあるけど、何だかなあ。  
は一あ、やきもきして損した。  
ん……それにしても、幸せそうな寝顔。  
仕事中に生徒の膝枕で寛いでるなんてほんと、いい御身分ですね。ふふっ。  
ん……もうすぐチャイム鳴るけど……ま、お疲れみたいですし、寝かせておいてあげますか。  
次の授業も、先生のせいで出られなかったって言えば言い訳もたつし。  
その埋め合わせって言えば、さっきのお願いも聞いて貰えそうだし、ね。  
ん……にしても、この短時間でホントに熟睡してるな。  
頬っぺたつついたりしても、全然起きないし。  
ま、ほんとに疲れてたみたいだし、しょうがないか。  
ん……とゆーわけで、ほんと、お疲れ様でした、先生。  
それと……

くす、おやすみなさい。